

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第175号

発行：令和5年12月1日



『新しい1日の始まり(屋嘉ビーチから昇る朝日)』

主な内容

- 一般質問 P2~15
 伊藝菊博P2 / 仲村広美P3 / 外間慎仁P4 / 吉野 潤P5 / 伊藝直樹P6
 與那城直也P7 / 山里 均P8 / 松田健人P9 / 崎浜秀幸P10 / 池原政文P11
 仲間トムP12 / 大城一之P13 / 前田健次P14 / 大城政敏P15
- 令和5年第6回(8月)臨時会 / 令和5年第7回(9月)定例会等 P16~22

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT 098 - 968 - 2292

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん(均霑)とは…「均しく霑う」という意味で町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行1号の際に命名しました



令和5年 第7回(9月) 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝菊博 議員

防災対策

伊藝議員 台風6号の町の被害状況は。

仲間一町長 町道・農道への倒木、農道の破損、カーブミラーの倒壊や破損、街灯破損があった。

公共施設はドア等の破損、空調設備の故障、金武公会堂では天井ボードや照明機器の損壊、金武中学校西側擁壁のゆがみ及び地盤沈下を確認した。

民家や事業所等で強風により屋根部分が飛ばされ、窓ガラスの破損、住宅敷地の土砂崩れ等、多数の被害

が発生した。

伊藝議員 町民へ台風対策の呼びかけは。

町長 7月28日に防災情報システムを活用し、戸別受信機等お知らせを行い、7月31日に暴風に備え、避難所の開設、暴風により屋外にあるもの等が飛ばされないよう注意喚起、断水に備え、水道水の備蓄の推奨、大雨による圃場の排水路の点検・清掃、農業施設に防風ネットの利用、台風発生時にに関するごみ収集情報等、台風が接近する前の周知に努めた。

伊藝議員 伊芸、屋嘉の海岸やKINサンライズビーチはどういった状況になっているか。

伊芸剛建設課長 伊芸区の海岸は飛砂が遊歩道、護岸に60〜70センチ積もっており、ネットも砂の重みによって破れている箇所が

ある。また、護岸から砂浜に降りるスロープの部分は砂が覆い被さっている状況である。

屋嘉区では飛砂だけではなく、転落防止柵も破損している状況があった。

仲間功商工観光課長

KINサンライズビーチは県が設置した飛砂防止ネットが破損している。

伊藝議員 今回の停電は断線している場所が特定できなかったことが長引いた原因の一つで、沖縄電力に電話してもつながらないという町民の声があるが、町が情報収集を行い、沖縄電力側に伝えた方が良いのでは。

知念久総務課長 警報が解除されて台風が過ぎ去った後は沖縄電力も関係会社含めて復旧にあたって

いるので、町が把握している情報によって、復旧が少しでも早まるのであればお互いの協力の中で取組んでいく。

伊藝議員 今回の停電は

木の倒木で電線に触れていることが原因ではないか。

総務課長 直接的に何が原因かは難しいところがある。今後、沖縄電力と災害時の停電復旧に関する協定を結ぶ準備をしており、沖縄電力の役割と町の役割、木の伐採等も含めて対応を検討していく。

伊藝議員 電線が切れて垂れ下がっているが、何の線なのか。

総務課長 廃止した有線放送電話のケーブルが数多く断線して垂れ下がっていた。

伊藝議員 撤去してないのか。

総務課長 委託業者が目視で確認できれば対応するが、町民から連絡がないと把握できない部分もあるため町民から情報提供があれば対応していく。

伊藝議員 路上で電線切断のトラブル等が多いが電線の地中化計画はあるか。

伊藝 勲企画課長 国道事務所で電線の無電柱化を進めており、来年3月には

終えたいということですが、ピードアップを図っている。

今後は屋嘉うるま市の4車線化等もあり、できるところは早急に要請して電柱の無電柱化に対応していく。



垂れ下がっている電線

伊藝議員 備蓄されている食料の活用機会はあったか。

総務課長 避難者に提供している。また、ネイチャーみらい館からASBO S TAY HOTELに避難した方々にも提供した。



危機管理



仲村広美 議員

仲村議員 町民のトップである町長の危機管理に対する考えは。

仲間一町長 大規模な自然災害に対しては迅速かつ的確な対応が求められることから、町長を本部長とする災害対策本部を直ちに設置し、指揮系統を明確にするとともに情報収集及び情報発信を行い、災害への対応並びに復旧作業に努めている。

仲村議員 内閣府が市町村長向けに災害時における心構えや初動対応の動画を作成したが、今後町はどのような対策を推進していく考えか。

町長 今後の対応は多発

する自然災害に対し、災害対策本部等により充実、強化するため、沖縄県や沖縄電力、沖縄気象台等の関係機関とも情報収集や連携を密にし、町民の生命・財産を守るため取組みを推進していく。

仲村議員 台風後に反省すべき点を今後どのように結び付けていくのか話合いはしたのか。

知念久総務課長 避難所の受入れにあたって電源の確保に関する話があり、これまでの取組みを変えられるところは変えていく。

仲村議員 台風時に町長はハワイにいたが、職務を代理する職員順序は決まっているか。

総務課長 町長が不在の場合はその次として副町長、総務課長、企画課長と代理する順番が定められている。

仲村議員 副町長は台風時にはどこにいたか。

金城司副町長 台風6号は2回沖縄本島に襲来し

たが、1回目は公務で東京、2回目は金武町内にいた。

仲村議員 台風時に町長、副町長もいないのは無責任だと感じる。第一に考えるのは町民の命を守る行動が仕事だと考えるがキャンセル料を払ってでも出張を止めるべきだったのでは。

副町長 今後は状況を判断して行動を決定していく。

町内における交通手段

仲村議員 公共交通はコロナ禍を経て社会情勢が大きく変化し、交通事業者も経営、人材不足等、苦境に立たされており、その結果町民への影響も計り知れないものがあるが、町はこの現状をどう捉えているか。

町長 沖縄県内の公共交通は自動車利用の増加とバス利用者の減少により、路線バス事業者を取り巻く環境が厳しくなっている。

また、今年6月末時点の個人営業を除くタクシー乗務員の総数が新型コロナウ

イルス感染拡大前から約2割の減少、さらに利用客も減少し、離職者が増えたことによる乗務員の不足が報道される等、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下が懸念されている状況である。

仲村議員 コミュニティバスは町内のタクシー会社や関係者も巻き込んでタクシー会社に運行してもらい、会社の利益も上がるような方法、補助金が出せるのか等を模索しながら検討してみているかどうか。

総務課長 各市町村でオンラインデマンドの乗合バスやタクシーの利用、導入というのも始まっており金武町の地域にとって何がベターなのか調べて取組んでいく。

給食費の無償

仲村議員 沖縄県が2025年度から第3子以降を対象に給食費を無償化する方針を固めたが、無償化を実施した場合の町に与える影響を伺う。

比嘉貴一 教育長 完全無償化で財源調整している

この記事が掲載されたが、沖縄県教育庁は詳細についてまだ決定はしていない。

仮に沖縄県が無償化した場合も再編交付金を活用した事業の見直しや変更等が予測される。

仲村議員 アレルギーのため給食を食べられずに弁当を持参している子にも、給食費無償化の恩恵を受けられるよう要望してきたが、町の見解は。

教育長 他市町村の事例等を参考に内容等を精査しており、今後もこの問題を総合的に解決できるように取組んでいく。

その他の質問事項

データ放送



外間慎仁 議員

台風6号の被害状況と今後の対応策と支援

外間議員 停電したら困る医療施設や老人ホーム等の被害状況と支援、対応策等はあるか。

仲間一町長 町内の医療施設や老人ホーム等の台風6号による被害状況については各施設とも施設利用者に影響を及ぼす停電や大きな破損等の報告は受けていない。

また、停電時の対応については1施設を除き、各施設とも非常用発電機を設置しており、数日間の電力の供給は可能だと聞いている。

外間議員 停電の影響によって断水も重なったが今

後の対策は。

町長 ネイチャーみらい館からの申出により町民に対して浴場及びシャワー室の無料開放を実施してもらった。

また、社会教育施設を活用してシャワーの無料開放や長期間断水している世帯に対し、非常用飲料水の配布を行った。

今後は断水に対して飲料水配布等必要に応じて対応できるように努めていく。

外間議員 町の災害危機管理体制と災害復旧体制はどのような体制で取組んだか。

町長 平成31年3月改定の金武町地域防災計画に基づき、台風の進路を鑑み、第1配備として金武町災害準備体制を設置、沖縄気象台が発表する各警報により第2配備として災害警戒本部を設置し、情報収集やその情報を町民に周知を行っている。

台風通過後の町内全域の被害状況を確認し、町道の

倒木の撤去等、ライフラインの確保をするため金武町建設業者会と締結した金武町災害時応援協定に基づき、復旧作業にあたった。

外間議員 台風直撃の影響により満潮時と重なり億首川から潮水が入ってしまったが農家と話し合いはしているか。

糸村昌敏 農林水産課長 農林水産課で現場を確認しており、今後は田芋にどれぐらい影響があるのか継続調査し、11月頃から掘り始める田芋を調査して支援するかどうか検討していく。

金武町複合庁舎建設

外間議員 保健福祉センターを複合庁舎に統合した場合の福祉や健康づくり、交流機能等はどうなるか。

保健福祉センターの機能をさらに充実した方がよいと考えるが、その計画はないか。

町長 機能の詳細については基本設計業務において

関係団体等や利用者等の意見を踏まえ、計画をしている。

外間議員 保健福祉センター周辺は様々な公共施設があるため交通量の多い地域になっているが、学校へ通う子ども達の通学路でもあり交通安全等に配慮した道路交通網計画はあるか。

町長 子ども達の安全や公共施設利用者の安全を確保するため隣接する町道の交通安全対策、進入路の確保、構内道路や歩道について基本設計業務において計画をしていく。

また、コミュニティバスの運行による利便性の向上も図っていく。

外間議員 近隣住民への建設計画に伴う説明は必要だが、説明会の予定はないか。

町長 建設工事に関して隣接する住民へ影響の可能性がある場合は早期に関係者へ説明会等を行っていく。

ひとり親世帯の支援

外間議員 昨今の物価高騰により、ひとり親世帯等の生活環境に多大な影響を与えている。夏休みは給食もなく、毎日の弁当作り等、食費への出費が続き大変な状況だが学童に給食費補助のようなことを導入できないか。

仲間賢 子ども支援課長 学童の食料費を補助した場合、利用していない低所得の子ども達はどうなるのかということもあり、夏休みの弁当の提供については給食の延長ではなく、町として今後どうするのかを1事業にだけではなく、全体的に議論していく。

その他の質問事項**中川地区排水路整備**



吉野 潤 議員

福祉施策の推進

吉野議員 町内の認知症と診断されている人数は。

仲間一町長 沖縄県介護保険広域連合により実施された認定調査項目の結果、400人となっている。

吉野議員 高齢者等見守りネットワーク協力団体の数は。

町長 88の個人や団体の方が登録され、行方不明者が発生した際に情報共有を含めた搜索活動を行っている。
吉野議員 認知症サポートー養成講座の開講状況は。

町長 各地区公民館及び保健福祉センターで全6回実施をしており、96名の方

が参加している。

吉野議員 認知症マイスターの養成に対する町の現状は。

町長 現在、認知症マイスターの養成は実施していないが、国の認証制度への動向や近隣市町村の状況を見定めながら進めていく。

吉野議員 金武町擁護支援機関サポートきんの活用状況は。

町長 これまでに町長申立て3件、相談件数40件の実績とパンフレットの作成及び配布等の啓発活動や関連機関との調整会議を実施し、成年後見制度利用促進事業を推進している。

吉野議員 成年後見人の登録状況と活動状況は。

町長 令和5年8月時点で町が支援を行ったケースを含め、85人の町民が成年後見制度を利用している。

吉野議員 災害時における独居老人への対応は。

町長 金武町地域包括支援センターで特に支援が必

要な高齢世帯及び独居老人のリストを作成しており、台風発生時や警報が発令された際に電話や戸別訪問で本人の状況確認や声かけ等を実施し、必要に応じて町が設置した避難所や親族宅等への避難の呼びかけを行っている。

吉野議員 台風後の独居老人の対応は。

鳥袋博保健福祉課長 要支援者は高齢者福祉係で把握しており、台風前や台風後も職員が各家庭の訪問や電話をして対応している。

吉野議員 障がい者の一般就労に向けた就労支援の取組みは。

町長 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして一般企業での就労に向けたトレーニングを行い、働くために必要な知識やスキルを習得し、就職後も職場に定着できるようにサポートを行う就労移行支援、一般的な事業所で働くことが難しい障がい者に向

けた職業訓練や生産活動を支援する就労継続支援、就労移行支援や就労継続支援、その他自立訓練サービス等を経験して、障害者雇用枠での就労や一般就労した方へ仕事上での悩みやトラブルへの支援を行う就労定着支援を実施している。

災害時における避難路の状況

吉野議員 屋嘉地区西公園跡地への避難経路の状況は。

町長 屋嘉児童公園整備完了に伴い、公園指定を廃止する予定だったが、当公園は災害時の避難場所として指定されていることから町は屋嘉区と公園廃止の条件としてトイレ及び園路の改修を行う旨の覚書を令和3年4月1日に交わしている。

吉野議員 避難路として木々が生い茂って通れず人が歩けない状況だが管理をしっかりとしてもらいたい。

伊芸剛建設課長 今後の整備に向けて調査を行い、園路の状況を確認するという意味で伐採していきたいと考えている。



草木が生い茂って歩けない屋嘉西児童公園

教育行政

吉野議員 町内中学生の英検取得状況は。

比嘉貴一教育長 英検3級の令和4年度は受験者数80名に対し合格者34名で合格率42.5%である。

吉野議員 何回受けても補助はできるのか。

金城明美 学校教育課長 何度受験しても半額助成している。



伊藝直樹 議員

令和5年台風6号

伊藝議員 町内の農林水産業の被害額は。

仲間一町長 被害額については沖縄県や沖縄県農業共済組合等の機関が算定を進めており、市町村別の正確な被害額は精査中となっている。

伊藝議員 農業用施設に被害があるため金武町生産機具及び施設資材購入補助金の申請はできないか。

町長 金武町農林水産物等災害対策特別措置要綱の支援制度があり、被害の状況に応じて申請が可能である。

伊藝議員 河川沿いの田んぼに海水が流入する被害

が出ており、手動式のゲートの設置ができないか。

町長 河川管理者の県等と海水流入対策について検討・協議をしていく。

伊藝議員 台風後に作物を洗い、田んぼから海水を流すために農業用水を多量に使用しているため農業用水の料金の免除ができないか。

町長 金武町土地改良区が農業用水を管理・運営しており、その農業用水の料金は金武町土地改良区の運営資金として貴重な財源であるため、料金の免除については考えていない。

伊藝議員 さとうきびの共済加入率は。

糸村昌敏 農林水産課長 畑作共済という保険があり、加入率は町内34%となっている。

伊藝議員 マンゴーの被害状況は。

農林水産課長 マンゴーは出荷のピークが過ぎて一部が残っている状況だった

ため、マンゴーの被害は少なかった。

伊藝議員 停電による農作物への影響がなかったか。

町長 菊農家から電照栽培の電気が停電したため、今後の苗の生育状況に影響が出ないか心配していると相談があった。

伊藝議員 停電によって冷凍の田芋は被害が出ていたか。

農林水産課長 農家の話では3、4日の停電は冷凍庫を開けなければ大丈夫だということだが、今回停電が5、6日続いた地区の冷凍庫は不安があると相談があったため金武町特産品加工センターで持ち込んで買取りをするのを伝えている。

今後はこういうことも想定して農家や町はどういった対策をしていくのか、検討して農家と意見交換したいと考えている。

有線放送電話ケーブル等撤去

伊藝議員 有線放送電話事業の廃止に伴い、電話ケーブル、電柱等撤去作業が急務だが町内全地域の撤去作業の完了はいつか。

町長 撤去費用で総額が1億2000万円の見込みとなっており、単年度での実施が難しいことから5、6年かけて順次撤去していく予定となっている。

伊藝議員 有線放送電話ケーブルの電力柱の共架料は。

町長 令和5年8月時点で沖縄電力の電柱1576本に共架をしており、年間約200万円の共架料が発生している。

伊藝議員 町所有の電柱はどのように利用するか。

町長 町が設置した電柱については、撤去後産業廃棄物として処分する予定となっている。

合併処理浄化槽設置補助

伊藝議員 合併処理浄化槽設置の補助対象者と補助額は。

町長 対象者は町内に合併処理浄化槽を設置する者で浄化槽法による設置届出及び審査済み、町税を滞納していない、農業集落排水事業の区域外に設置する等が要件となっている。

補助額は5人槽で33万2000円、6、7人槽で41万4000円、8人槽以上で54万8000円の補助限度額である。

伊藝議員 設置実績は。

町長 令和4年度は5人槽3基、8人槽以上1基、合計4基の設置実績となっている。

伊藝議員 中川区は全世帯が対象か。

伊芸慎一郎 住民生活課長 中川区は農業集落排水が整備されていないため、全世帯が対象となっている。



與那城直也 議員

公共水道事業に係る生活環境の改善

與那城議員 宅内配管の接続に係る施工については、担当課における事前の申請と事後の検査を行っているはずだが、雨水配管と完全に独立していることを確実に確認しているか。

仲間 一 町長 宅内配管の工事完了後は完了した日から5日以内に完了届を提出し、当該排水設備の検査を受けるものとなっております。検査時に図面等を照合しながら現地確認をしている。

與那城議員 汚水処理施設において流入してくる水の量は大雨後数日と雨が降らなかつた数日間の時期

とで大きな変化があるか。

町長 令和4年度実績は晴天時で1日平均流入量1437.1立方メートル、雨天時で1日平均流入量1493.3立方メートルとなっております。雨天時は晴天時に比べて1日当たり56.2立方メートルの増となっていることから農業集落排水処理施設への雨水流入があると想定される。

與那城議員 仮に下水道配管に雨水が流入している事実があった場合、その後実施すべき対策は。

町長 雨天時にマンホール内を確認し、雨水の流入元を追い、公共柵にて流入箇所を特定した上で排水工事を請け負った業者に指示し、これまで6件の雨水流入を改善している。

與那城議員 1戸1戸、家の排水を確認することはできないか。

伊芸 誠 上下水道課長 並里区の約1100件を1戸1戸だと時間も費用もか

かるため適宜、上下水道課で確認をしながらやっている。



雨水流入の影響で汚水が溢れ出ている塩ビマンホール

側溝の維持管理

與那城議員 金武町内の町道・農道は側溝に土が溜まり、雑木、雑草が生い茂っている箇所が大多数あり、数年に一度、町内の道路の側溝清掃の一括発注等を行い、定期的かつ適切な維持管理に努めるべきだと考えるが。

町長 側溝の維持管理については職員の巡回や町民の皆様から清掃や改修等が必要な箇所について情報提供を受け対応をしている。

清掃や軽微な修繕については町の道路維持管理業務職員が処置を施し、経年劣化による破損や排水機能に支障を来している側溝の改修が必要な箇所については年次的に計画を立てて町内道路側溝等改修工事に対応している。



雑草が生えている側溝

與那城議員 令和4年度報金武4月号で町民向けに側溝の状況が悪い場所について情報提供を依頼する旨の告知が出ていたが、情報提供は何件で、どのように対応したか。

町長 令和5年8月末までに56件の情報提供があ

り、内52件は清掃や軽微な修繕のためすぐに対応している。4件については改修が必要な危険な箇所だったことから工事を実施した。

台風6号に対する防災・減災対策

與那城議員 避難所等の主要機能の停電対策や停電した際の早期復旧体制等について沖縄電力と事前に協議や調整がされているか。

町長 避難所等の公共施設の災害時における停電の早期復旧については、沖縄電力と協議を行い、早期停電復旧に関する協定締結に向けて取組んでいく。

與那城議員 断線しやすいうルートが分かれば対応できるのでは。

知念 久 総務課長 沖縄電力に台風に近い配線の仕方が可能かお願いしていきたい。



山里 均 議員

伊芸地区公民館雨漏り

山里議員 築40年近くになる伊芸地区公民館は老朽化が進み、去った台風6号により雨漏りや吹き返しの風等によって、サッシ等から雨が吹き込んで水浸しになり、待機していた区長や職員は昼夜問わず雨水の掃き出しを行ったが、雨漏りの原因を調査する考えはあるか。

比嘉貴一 教育長 令和2年度に伊芸地区公民館雨漏り調査を実施し、壁コンクリート継ぎ目地や窓枠周辺の経年劣化により強風時に雨の吹き込みがひどくなっている状況を確認している。調査結果を区と共有

して、シーリング等の軽微な修繕を区で実施していたが、一般の台風第6号により1階畳間入口、講堂の舞台周辺、2階会議室、学習室で雨漏りの被害が確認されている。



伊芸区事務所の区長室正面壁(左)と調理室天井(右)の雨漏れ

山里議員 台風に限らず大雨が降った場合には雨漏りすると聞いているが早めの対応をしてほしいが。

儀間権 社会教育課長

大雨の強風時にも吹き込みがあることは確認しているので対応していきたい。

台風6号による避難所

山里議員 今後各避難所へ発電機を設置する考えはないか。

町長 台風等災害時には町所有の電気自動車を避難所へ配備し、停電時において最低限の電力確保に努めており、発電機の設置については必要な容量等を含め検討していきたい。

山里議員 伊芸地区公民館消防設備用発電機が利用できないか。

町長 火災時に停電した場合、消防用設備等が正常に稼働するように消防法施行規則により発電機を整備することが義務づけされており、その他への利用ができないものとなっている。

山里議員 避難所を変更したことによって支障はなかったか。

町長 マンゴー農家から

町長 台風6号2回目の

接近前に屋嘉地区公民館が強風による窓ガラス破損や停電により、避難所として活用が困難であったため避難が必要な方に対し、伊芸地区公民館に避難を呼びかけ、その際は特に支障はなかった。

山里議員 各避難所の人数は。

町長 総合保健福祉センターに15名、伊芸地区公民館に6名、金武町立中央公民館に9名、屋嘉地区公民館は避難者がいなかった。

伊芸地区土地改良区の上之島、川田原の農業用水

山里議員 上之島原・川田原のマンゴー生産者一部からハウス内の散水ホースから臭いや茶褐色の濁り水が出て散水した場合にマンゴーの葉っぱや支柱等が変色したため散水ができない状況であると聞いたが、相談はあったか。

町長 マンゴー農家から

相談があり、現在金武町土地改良区において原因調査と対策の検討を行っている。

山里議員 ファームポンドへポンプアップしているのはため池一箇所か。

町長 ため池については1か所となっております。ため池の水量で足りない場合は美徳川から取水して補う構造となっている。

山里議員 水質の管理上定期検査を行っているか。

町長 金武町土地改良区職員が定期的に設備等の点検と併せて実施している。



変色した支柱



松田健人 議員

台風6号への対応

松田議員 金武町における停電・断水等の被害状況は。

仲間一町長 停電については沖縄電力のホームページによると町内全域で最大3480戸が停電した。また、断水については新開地地域、並里地区、中川地区の水道施設が停電したことにより、各施設の送水ポンプ等が稼働せず、各地区で断水が発生した。

松田議員 災害対応は。

町長 戸別受信器やSNS等の町広報媒体を活用して台風に関する情報や避難所開設等を発信した。

松田議員 災害対応にお

ける改善点は。

町長 台風6号は長期間にわたり沖縄近海に停滞したことで停電や断水被害が多く見られたことから、今回の被害を教訓に沖縄県や各関係機関とも意見交換等を行いながら今後に向け取り組んでいく。

松田議員 宜野座村長は出張先のホテルからリモートを活用して会議している。町長、副町長が不在ならネットを活用したオンラインでの会議も効率的だと考えるが。

知念久総務課長 連絡の方法の手段として有効な方法であれば、どんどん取り入れていきたい。

松田議員 役場と中央公民館で携帯電話等の充電場所が設置されたが、各地区でも設置は考えられなかったのか。

総務課長 今回の停電に対して影響を受けている方があるのか把握できないことや地区公民館でも停電の

状況があった。今後はその状況や町民から要望がどれだけあるのか確認した上で協力をお願いしていく。

松田議員 避難場所指定の基準はあるのか。

総務課長 地域防災計画の中に避難施設が公共施設であり、地区公民館や各学校等が大体避難施設となっている。基本的には建物が堅牢な施設で大人数を収容できるものが前提である。

女性による町づくり提言委員会

松田議員 女性提言委員会からあがってきた意見についてどのように町に意見が反映されているか。

町長 月に1回の頻度で開催されており、平成26年度、令和3年度までに、行きやすい役場づくり、男女共同参画関係施策業務の体制強化、人材バンクの設置、町の広報、金武町放課後児童健全育成事業、億首川のマンングローブ林の文化財指

定等について提言が行われている。また、提言を受けて電子決済による納税、携帯電話によるホームページの閲覧等が町の行政に反映された。

松田議員 複合庁舎建設に関して女性提言委員の方々に基本構想、基本計画を説明した上で意見を聞くことができないかと考えているが可能か。

総務課長 新メンバーには新庁舎についても意見を伺いたいという旨があるため意見を聞いていきたい。

町内交通機能の維持・向上

松田議員 町内のタクシー等についてはコロナ禍の影響もあり、乗務員の離職による人手不足が深刻化し、保有車両の稼働率が下がる等、曜日や時間帯によつては客の要望にこたえられない状況があり、今後町内へ訪れる観光客等の移動手段にも影響が懸念されると考えるが、当案件に対す

る今後の町の考えは。

町長 地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題解決だけでなく、活力のある地域振興を図る上で欠かせないものであると認識している。今、金武町の課題の一つで買い物弱者を救うため、コミュニティバスの運行がスタートしたが、どういった手段が有効なのか検討する必要がある。

松田議員 公共交通サービスについては全国でいろんな取組みが行われているが、調べたことはあるか。

総務課長 道路運送法による事業区分というのは多岐にわたっている。金武町にとつてベターな地域交通の確保について情報収集し、できるだけ時間がかからず導入できる方法を検討する。



台風被害の対策



崎浜秀幸 議員

崎浜議員 町内で停電が1週間にも及ぶ地域があったが原因は立木の倒木によるもので今後の対策として伐採作業が必要だと考えるが。

仲間一町長 町道管理においては日頃の道路通行の妨げになるような樹木の伐採を実施しているが、去った台風6号は大型で長期間停滞したことにより、町内各所で樹木の倒木があった。今後は台風時の停電対策として町と沖縄電力との緊急連絡体制の構築、活動拠点の提供、住民への停電情報の周知、樹木の事前伐採、障害物除去の協力

等を定めた災害時における相互連携に関する協定の締結に向けて協議を進めている。

崎浜議員 協定を結ぶのはいつ頃なのか。

知念久総務課長 時期はまだ決まっていないが、内容を詰めた上でできるだけ早く協定の締結に向けて取組んでいきたい。

崎浜議員 台風の影響で停電が起こった場所は何か所だったか。

総務課長 町が把握しているのは3000件余りである。最大時には6、7割が同時に停電していたと考えられるため大多数の地域が同時に停電していたということになる。

崎浜議員 停電する地域は把握していないのか。

総務課長 台風によって停電する場所は毎回変わるため具体的にこの場所が停電するということは把握できていない。

崎浜議員 停電が起こる

と冷蔵庫に入れてあるものを廃棄する状況が出てくるが何か対策ができるかと考えるが。

総務課長 長期間の災害には防災計画というものを想定して立てられているため食料不足が発生した場合に町は防災の備蓄食料の提供や自主防災組織には炊き出しをするような機器も提供されているため町はそういった方々に周知を呼びかけて水や食料の提供等も行うことは可能だと考えている。

給食センター内労働環境

崎浜議員 就労形態は。

比嘉貴一 教育長 早番が午前7時、午後3時まで、中番が午前7時30分、午後3時30分まで、遅番が午前8時、午後4時までとなっている。

崎浜議員 職員間のトラブルがあるかないか。

教育長 職員を対象として7月にアンケートを実施

したが、その中で職員間のトラブルは上がっていない。また、聞き取り調査においても職員間のトラブルは上がっていない。

崎浜議員 施設内の設備は充実しているのか。

教育長 老朽化している設備を年次的に更新しており、令和5年度はボイラー設備、軟水器、真空冷却機を更新した。また、センター内の労働環境の改善を図るため、新たに空調設備の設置に取組んでいる。

崎浜議員 小学校で給食に虫が入っていたということだが、その原因については調べたか。

金城明美 学校教育課長 発見された虫に関しては検査機関に提出して検査結果が出ており、調理の段階で混入されたものである。侵入経路については野菜に含まれていたのではないかと認識している。

崎浜議員 現業職はその勤務体系で守られている

か。

学校教育課長 他の現業職の職員が休んだ場合に作業が時間内に終わらなくて残っていることもある。

崎浜議員 アレルギーを持っている子に特別な食事を提供しなければならぬが特別食を作る専属の調理員がいるのか。

教育長 教職員、児童生徒含めて約1400食を毎日作っているが、内30人程度のアレルギーに対応しなければならぬ児童生徒がいる。その児童生徒に対して除去食(卵、エビ、カニ、ピーナッツ等の食材を使わない食事)を調理員全員で作って提供している。



給食センター



池原政文 議員

**伊芸区簡易水道事業の
統合**

池原議員 金武町水道事業への移管時期は。

仲間一町長 令和4年12月12日に伊芸区長及び伊芸区行政委員会議長から協議要請があり、現在伊芸地区簡易水道事業統合に係る覚書の締結に向けて町と伊芸区で協議中であるが、移管時期は令和6年4月1日を予定している。

池原議員 伊芸区所有の簡易水道施設財産の取扱いは。

町長 これまで金武区、並里区、中川区、屋嘉区が金武町水道事業へ統合した際、各区が整備した水道施設の建設費用に係る残存価

格を算出し、有償としており伊芸区が所有している水道施設についても協議を進めている。

池原議員 水道メーターとカバーはどうなるのか。

伊芸誠上下水道課長 水道施設の資産なのでそこも含めて町有になる。

池原議員 美徳川水源の水道水の利用は。

町長 統合後において原則、現在の水源である美徳川上流の河川水を原水として供給する計画である。

池原議員 移管後の老朽化した配水池及び浄水場等の整備計画は。

町長 令和6年度に当該施設に係る実施設計を行い、7年度に沖縄県企業局用水を受水するための管路等の布設工事、8年度に配水池築造工事、9年度に浄水場整備工事を実施する予定となっている。



処理能力の改善が必要な配水タンク

池原議員 沖縄県衛生業務課は伊芸区の簡易水道を再認可せず保留している状況だが、その理由は。

上下水道課長 伊芸区は給水人口も増加して今の施設の処理能力では供給が難しいという県の見解であり、その処理能力を改善するために施設の増築が必要だということである。配水池も含めて供給できる施設の要件を満たさないと認可が保留になる。認可の条件として施設の改善や水質の問題、町との統合が必要だろうという認識で保留になっている。

池原議員 伊芸区の水道

技術管理者職員の処遇は。

町長 統合に伴う業務量の増加が見込まれるため、当区水道施設等に精通している現任の水道事業職員1名を金武町役場上下水道課に採用する予定である。

池原議員 伊芸区集落排水施設の管理運営は。

町長 現在は伊芸区に指定管理をしているが、統合後の令和6年4月1日から町で管理運営を行う。

台風災害による危機管理の在り方

池原議員 台風6号ではいつ災害対策本部の設置をしたか。

知念久総務課長 7月31日木曜日の暴風警報が発令される前に高潮警報が21時12分に発令されたことで対策本部の各課長と三役に連絡して設置をした。

池原議員 その時は町長、副町長は沖縄にいたのか。

総務課長 7月31日の時点では町長、副町長は県内

には不在であった。

池原議員 台風時に副町長は東京に行っていたが、町長の指示か。

町長 台風以前に予約をしていたこと、災害対策本部での活動状況等を鑑みて、参加したものだとは副町長から聞いている。

池原議員 飛砂による伊芸海浜公園海岸線の遊歩道に堆積した砂の除去は。

町長 管理者である沖縄県から県内各地で台風6号による護岸海浜被害が相次いでいることから順次対応していくと回答で、先日伊芸区の海浜の堆砂除去は終わったと情報が入っている。



砂が蓄積して歩けない遊歩道



仲間トム 議員

福花原水田のジャンボタニシ

仲間議員 農家からジャンボタニシの相談や情報等はあったか。

仲間一町長 水稻の新芽や田芋の被害等の報告や駆除方法等の相談を受けた。

仲間議員 福花原水田でジャンボタニシ発生状況の確認はしたか。

町長 ネイチャーみらい館側から町道金武251号線付近の一部で確認されている。

仲間議員 ジャンボタニシの移動手段だが、田んぼから出て道を渡れるのか。または田んぼ間の行き来をしているのか。

糸村昌敏 農林水産課長

田んぼの水の深さを浅くすると動きが鈍くなってなかなか動かないと聞いているが、あぜ道を越えてくるというところも聞いており、水がなくても多少の移動はあると考えられる。



ジャンボタニシ

仲間議員 ジャンボタニシの一斉防除の予定はあるか。

農林水産課長 ジャンボタニシの活動が活発になる1〜3月の水稻一期作植付け時期に合わせて町から各農家に薬剤を配布し、防除を実施している。

仲間議員 1〜3月以降は配布してないが、それ以降の対策はどうなっているか。

農林水産課長 農薬は水稻で2回までしか使えないと回数制限があり、そこを守りながらジャンボタニシ駆除を行うよう周知している。

仲間議員 ジャンボタニシくんの効果は。農林水産課長 効果はともあると考えているため、配布をして防除を行っている形となっている。

仲間議員 農薬のジャンボたにしくんはジャンボタニシが食べて死ぬのか、水面に広がって全体的に薬が効くのか。

農林水産課長 農薬は粒状になっており、ジャンボタニシが食べることで死滅する。



ジャンボタニシく

仲間議員 以前、石灰窒素で駆除したことがあるみたいだが効果はでいたか。

農林水産課長 ジャンボタニシ駆除に効果はあると聞いている。田芋はジャンボたにしくんが認定農薬になっていないため田芋を栽培している時は使えないことから田芋を植える前に田んぼに石灰窒素を撒いてジャンボタニシを駆除してから田芋を植えると一定の効果はあると聞いている。

町の交通機関 町議員 町の公共交通機関は。町長 バス、タクシーが運行しており、各地区の協力で金武町コミュニティバスが運行している。

仲間議員 買い物客や飲食店等に多大な影響が出ているが、町の見解は。町長 観光客等の町を来訪する方の移動のための交通手段として利用される公共交通の確保について交通事業者や町民、地域の関係機関と協議を行い、今後は基本的な方針、計画の区域、計画の目標、事業・実施主体等に係る地域の現況、利用者ニーズ、運行ルートや時間、車両、人員体制、経費等を含めた地域公共交通計画の策定を進め、利便性の高いコミュニティバスの導入を図っていく。

知念久 総務課長 原則として5区が週に1回買物の支援という形で使っており、毎日5区が稼働すると予算も大きい。そのためコミュニティバスの利用範囲を拡大することについてはいろいろ検討が必要となっている。

町長 観光客等の町を来訪する方の移動のための交通手段として利用される公共交通の確保について交通事業者や町民、地域の関係機関と協議を行い、今後は基本的な方針、計画の区域、計画の目標、事業・実施主体等に係る地域の現況、利用者ニーズ、運行ルートや時間、車両、人員体制、経費等を含めた地域公共交通計画の策定を進め、利便性の高いコミュニティバスの導入を図っていく。



大城一之 議員

台風6号による被害

大城議員 金武公会堂の被害状況及び復旧は。

比嘉貴一 教育長 暴風

及び線状降水帯により降り続いた大量の雨が屋上で排水し切れず、長時間溜まった状態が続いたため老朽化した屋上から天井部の広範囲に雨水が浸透し、2階大ホール及び1階和室の天井ボードが抜け落ちる等の被害が発生した。

復旧作業は被害発生原因、被害状況確認、改修方法を検討するための調査業務を実施した。この調査を踏まえて現在建物屋上の防水対策を実施している。

大城議員 町内避難所の

開設状況は。

仲間一 町長 台風6号

の接近に備え、町では7月31日に台風災害の避難所を保健福祉センター、伊芸地区公民館、屋嘉地区公民館に設置し、早めの避難を呼びかけたが、今回の台風6号1回目の接近で保健福祉センター及び屋嘉地区公民館で停電が発生したため、台風6号2回目の接近に備え、避難所を保健福祉センターから中央公民館に変更、屋嘉地区公民館を伊芸地区公民館へ変更し、避難を呼びかけ、地域の住民の安心・安全の確保に努めた。

大城議員 町の農林水産

業の補償は。

町長 令和元年度から全ての作物を対象とした収入保険制度が導入され、災害に関係なく基準の収入に応じた支援が受けられることとなっており、引き続き農業共済への加入促進にも取り組んでいく。

大城議員 防災士を育成

するという考えは。

知念久 総務課長 防災

士は今後必要だろうと考えしており、職員全体の研修計画の中に防災士に関する受講も含めて総合的に検討していく。

金武公会堂建設

大城議員 令和4年第3

回6月定例会の一般質問で社会教育課長は「金武公会堂建て替えに向けて町の補助財源のメニューを探さないといけない」と答弁をしているが、現在までの進捗状況及び今後の町の作業工程は。

教育長 町長部局と財源

確保に係る調整、活用可能な補助メニューについて検討しているが、実施設計に係る基本計画の精査及び協議によって建設費用の概算を算出した段階で補助メニューを決定し、補助先と調整を進めていく予定である。

大城議員 新型コロナウ



建て替えが必要な金武公会堂

新型コロナウイルス

大城議員 町内の感染状況と感染対策は。

町長 新規感染者数等の公表は毎日報告される全数把握から週1回の保健所別

定点報告数に変更となり、市町村単位での感染者報告数が公表されなくなったことから金武町の感染者数についても把握できない状況である。

大城議員 新型コロナウイルス

イスクワチン秋接種の内容

町長 現在の流行主流株であるオミクロンXBB

1.5対応1価ワクチンを使用し、9月20日から接種開始予定である。接種対象者は初回接種を終了した5歳以上の全ての町民が対象となる。

大城議員 町内児童・生徒の感染状況と学校での感染対策は。

教育長 金武町立学校の児童・生徒の感染状況は令和5年9月8日現在で小学生4名、中学生2名である。学校における感染対策は

令和5年4月28日付、文部科学省初等中等局教育局長から沖縄県教育委員会へ通知され、5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策に基づき対策を行っている。

現在は手洗い、手指消毒、教室内の換気等に取組んでいるが、検温、給食時における黙食等は実施していない。夏場に行う体育の授業や課外活動時は熱中症対策としてマスクを着用しないよう指導している。



前田健次 議員

自動体外式除細動器 (AED) の取扱い状況

前田議員 AEDの適正配置、適正管理、情報提供に関するガイドラインの策定に関する考えは。

仲間一町長 AEDに関する情報提供は町のホームページにAEDの設置情報や使用方法を掲載し、国が策定しているガイドライン等が閲覧できるように管理や配置情報の公開に取組んでいく。

緊急時の心肺蘇生法やAED等の応急処置について施設管理者に応急手当講習の受講を促すとともに多くの方に応急処置について学んでいただけるよう金武地区消防衛生組合が開催して

いる応急手当講習会について周知を行っていく。

前田議員 講習会の予定は。

知念久総務課長 金武町役場では救急救命講習の予定はないが、各施設から町が中心となって準備してほしいというのであれば相談した上で、計画していく。

前田議員 AED設置のマップ等は作成されているのか。

総務課長 ホームページ等でAEDが配置されている施設やマップは現在作られていないが、設置場所はこの設置事業者が開設した時に登録するものがあるためインターネットで「金武町AED」と検索すればどの施設にあるか出てくる。

前田議員 パッドやバッテリーの管理は委託業者が定期的に回ってやっているのか。

総務課長 一定期間たつと取替えるため、設置した委託業者の下でその期間

に合わせて交換するような形で行っている。



自動体外式除細動器AED

屋嘉上水道汚濁の原因

前田議員 8月18日に屋嘉区上水道の汚濁が発生した。上下水道課は日常的に水質検査を行い、安心・安全な水道水を届けているが屋嘉水道水の汚濁の原因と住民自らが行う水道水の点検作業、セルフチェックのポイントは。

町長 屋嘉地区の水道施設を改めて確認すると、停電による施設の長期稼働停止が原因で水道管の中の水垢と考えられる濁りの発生を確認したため、急ぎよ

己水源からの取水を停止し水道企業局用水での水道水供給に切替えている。

町は水道管内の水の処理や水道施設等の清掃を行い、修繕が必要な箇所は業者に依頼する等、施設の早急な改善に取組んでいる。

住民自らが行う水道水のセルフチェックは真っ白な容器に水道水をためて、濁りがあるのかを確認できる。

前田議員 タンクを設置している家庭に点検や清掃のチラシ等も作成してほしいが。

伊芸誠 上下水道課長 点検や清掃のやり方に関して家庭でできるのか勉強して、周知できるのであればやっていきたい。

屋嘉ビーチのトイレ設置

前田議員 屋嘉ビーチは町内外から多くのウォーキング愛好者やビーチパーティーの場として活用されているが、遊歩道等の利用

者からトイレの設置が強く要望されているが町の考えは。

町長 沖縄県の海浜利用に関するガイドラインにおいてトイレ施設等の設置が禁止されているため、整備は難しい状況となっている。

町はこれまで屋嘉ビーチの海岸背後地を沖縄県から土地の占用許可をもらい管理用道路を整備した経緯があるため、その占用区域内においてトイレ設置の必要性や維持管理方法も踏まえ、関係機関との協議を重ねていく。



ウォーキングができる屋嘉ビーチ



大城政敏 議員

保健福祉センター

大城議員 保健福祉センターの建築面積は。

仲間一 町長 総建築面積895.5坪、延べ床面積1023.6坪、平成16年度に18.9坪を増築し合計延べ床面積は1042.4坪である。

大城議員 雨漏れはいつからか。

町長 平成20年度頃から確認をしており、主な修繕対応として26年度に防水対策、28年度と30、31年度に天窓や各所の雨漏り修繕を行っている。

大城議員 町長は保健福祉センターを大規模改修するには7億円かかると答弁

しているが、大改修の内訳は。

町長 総務省が監修した公共施設等更新費用ソフトを使用し、大規模改修費用の1平方メートル当たりの単価の20万円に延べ床面積を乗じて算出したものであり、内容は文部科学省の長寿命化計画策定に係る解説書において外装・内装等の改修、断熱化等のエコ改修、トイレ改修、空調設備等の更新、コンクリート中性化対策、鉄筋の腐食対策、耐久性に優れた仕上げ材への取替え等が想定される。

大城議員 築23年しか経ってないが法定年数からみるとあと25年活用できる状況だが。

安富祖勅 複合庁舎整備推進課長 修繕等を繰り返しており、さらには維持管理費にも多額の費用がかかるため、中長期的に見た場合に複合庁舎に統合した方が有利だと考えている。



総合保健福祉センター

複合庁舎役場建設

大城議員 用地検討委員会に用地選定を諮問して保健福祉センター周辺と答弁を受けているが、周辺に対する見解は。

町長 金武町総合保健福祉センター周辺という表現は同センターも含まれているものとなっている。

大城議員 用地検討委員会と建設検討委員会は教育長が副委員長を務めているが、答申した周辺とは何か。

比嘉貴一 教育長 場所の候補を用地選定委員会で検討した状況で図上に大きく位置を付けてこの辺り

ということを決定をしたため、保健福祉センターを除く部分というような解釈は当時からなかったが周辺とは一般的にその近くというものと考える。

大城議員 住民に説明する時もその内容で説明するべきではなかったか。

複合庁舎整備推進課長 各種説明会でも保健福祉センターの取扱いは当初残す考えで説明してきたが、建設検討委員会との議論、答申を受け、統合して進めていくということを説明している。

地区公民館

大城議員 地区公民館の設置目的は。

教育長 公民館は社会教育法第20条に基づき住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉

の増進に寄与することを目的としている。

大城議員 地区公民館の役割は。

教育長 対象となる区域において公民館の目的を達成するための事業の実施、各種団体の連絡、住民の集会及びその他の公共的利用に供することとなっている。

大城議員 地区公民館の財産権の帰属及び公有財産としての種類は。

教育長 町の公の施設として設置された行政財産となっている。

大城議員 各地区公民館の運営状況は。

教育長 町と各区の間で指定管理者制度に基づいた協定を締結し、公民館設置の目的に沿った運営がなされている。

大城議員 各地区公民館の維持管理費の負担状況は。

教育長 公民館の維持管理に要する経費は区が負担することとなっている。

令和5年 第6回（8月）臨時会

令和5年第6回臨時会が8月4日（金）に招集され、1日間の会期で開催された。臨時会では、水道料金を6ヶ月間全額免除の補正予算や工事請負契約を審議し、採決の結果可決となった。
議決結果は下記のとおり。

令和5年 第6回（8月）定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和5年度金武町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ5,610万8,000円を追加し、総額113億8,540万3,000円とするもの。補正の主なものは、エネルギー、食料品等の価格高騰の影響を受ける生活者の経済負担軽減を図るため、全世帯を対象に令和5年9月～令和6年2月分の水道基本料金を全額免除するための補助金である。	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町水道事業会計補正予算（第2号） 水道事業収益の増減はなしとし、一般会計から5,267万円を営業外収益へ増額し、家庭用水道料金免除に係る営業収益の5,267万円を減額するもの。	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：宇謝・前原地区ポンプ等取替工事 契約の相手方：(有)大豊建設・丸中水道工事社建設 建設工事共同企業体 契 約 金 額：1億7,947万6,000円	原案可決 (全会一致)

令和4年度 各会計の決算を認定

令和5年第7回定例会が9月12日（火）に招集され、9月26日（火）までの15日間の会期で開催した。一般質問は14名が登壇した。

定例会では、補正予算（一般会計、特別会計）や金武町税条例の一部改正、物品の取得、工事請負契約の締結、金武町農業委員会委員の任命に関する議案などを審議した。

また、令和4年度の各会計の決算については、議長を除く議員15名で構成する決算審査特別委員会において審議を行った。9月20日（水）は前年度に完了した工事箇所等の現場踏査を行った。

各会計の決算状況と議決の結果は次頁のとおり。

令和4年度各会計の決算

一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
132億 1,466万 2,395円	129億 3,415万 8,060円	2億 8,050万 4,335円

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
17億 9,421万 5,305円	17億 5,812万 4,163円	3,609万 1,142円

有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
2,669万 8,443円	2,492万 4,611円	177万 3,832円

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
1億 7,054万 8,903円	1億 6,903万 8,091円	151万 812円

下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
2億 6,032万 3,100円	2億 3,105万 2,090円	2,927万 1,010円

水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

水道事業収益：5億 7,737万 4,485円	水道事業費用：4億 9,697万 5,546円
資本的収入：2億 7,961万 1,000円	資本的支出：5億 3,539万 3,337円

※資本的収入額が資本的支出に不足する額2億 5,578万 2,337円は、減債積立基金、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填した。

各会計の決算に関する議決結果

議案名	議決結果
令和4年度金武町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
令和4年度金武町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
令和4年度金武町有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
令和4年度金武町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
令和4年度金武町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
令和4年度金武町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 (全会一致)

令和4年度に行われた工事箇所の現場踏査と主な工事箇所



金武町多目的屋内運動場



屋嘉区公民館改修工事

各会計の決算に関する議決結果

件 名	議決結果
令和5年度金武町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ1億4,944万9,000円を追加し、補正後の予算総額を115億3,485万2,000円とするもの。補正の主なものは金武公会堂改修、新型コロナウイルスワクチン接種（秋接種）に係る医療機関への委託料、金武中学校屋内運動場擁壁復旧工事実施設計委託料である。	原案可決 (賛成多数)
令和5年度金武町一般会計補正予算（第4号）に対する修正案 全国市議会議長会基地協議会に関する経費53万3,000円を減額するもの。	否決 (賛成少数)
金武町財政調整基金の処分について 金武町まつり実行委員会補助金、金武町総合福祉センター修繕、金武中学校西側擁壁災害復旧工事実施設計業務委託等へ1億108万2,000円以内を充当するもの。	原案可決 (賛成多数)
金武町財政調整基金の処分についてに対する修正案 原案から全国市議会議長会基地協議会に関する経費に係る一般財源分の53万3,000円を減額するもの。	否決 (賛成少数)
令和5年度金武町下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1,072万8,000円を追加し、補正後の予算総額を1億6,701万8,000円とするもの。主な内容は国道329号屋嘉地区交通安全対策工事に係る下水道マンホールのかさ上げ等委託料及び新築住宅建設に伴う公共樹設置や管路延長に係る車借上料である。	原案可決 (賛成多数)
負担付き寄附の受入れについて 金武区学習等供用施設の電気設備改修等の緊急対策に充てることを目的に金武区から負担付き寄附を受け入れるもの。	原案可決 (全会一致)
土地明渡等請求控訴事件に関する和解について 登記簿上の所有名義者である者が所有する土地の一部を道路として使用している金武町に対して所有権に基づく土地の明渡と土地使用による不法行為又は不法利得に基づく賃料相当額を求めた土地明渡等請求について和解内容を決定するもの。	原案可決 (賛成多数)
金武町行政財産使用料条例の制定について 行政財産の使用又は公の施設の利用の許可を受けた者から使用料を徴収するために、必要な事項を定めるもの。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
金武町特用林産物（ぶなしめじ）生産出荷施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 当該施設は運営会社の生産に伴い令和4年6月に閉鎖となったため、今後の利活用にあたり、他のキノコ類が農林水産物も生産できるよう条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名：金武中学校屋内運動場備品購入 購 入 先：アイソトープス株式会社 購入価格：1,214万4,000円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について 令和4年第6回9月定例会で議決された内容の一部変更 件 名：シッチ原橋補修工事 契約の相手方：有限会社 神中組 契 約 金 額：「1億1,681万6,700円」を「1億2,929万4,000円」に変更	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：嘉芸小学校屋内運動場建設工事（建築） 契約の相手方：(有)ナカムラ造園土木・島電設(株) 建設工事共同企業体 契 約 金 額：4億7,300万円	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ418万円を追加し、補正後の予算総額を115億3,903万2,000円とするもの。補正の主なものは金武小学校普通教室棟空調設備の故障に伴う修繕費である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 金武小学校普通教室等空調設備修繕へ418万円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 嘉数昇氏を金武町農業委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
金武町農業委員会委員の任命について 山城和徳氏を金武町農業委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
金武町農業委員会委員の任命について 仲間堅一郎氏を金武町農業委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
金武町農業委員会委員の任命について 宮里哲也氏を金武町農業委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
金武町農業委員会委員の任命について 伊藝裕美子氏を金武町農業委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
金武町農業委員会委員の任命について 山城亮子氏を金武町農業委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
令和5年度金武町一般会計補正予算（第4号） 人権擁護委員の候補者として山城宏一氏を法務大臣へ推薦するため意見を求めるもの。	適 任 (賛成多数)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

町村議会議員・事務局研修会

11月8日(水)、読谷村文化センターで沖縄県町村議会議長会主催の町村議会議員・事務局職員研修が開催され約300人が参加した。研修会ではベジフルマンマ代表の徳元佳代子氏が「失敗から学んだ・地域農産物の魅力と農業の可能性」と題して葉タバコ農家に嫁いでから農業をはじめ、その後野菜農家へ転換し、野菜のプロとしての知識を身につけるため野菜ソムリエ上級プロの資格を取得した自身の経験を話した。



農産物の魅力を語る徳元佳代子氏



叙 勲

元金武町議会議長で6月6日に死去した松田義政氏の地方自治への功績が認められ、旭日単光章を受章した。

松田氏は平成14年4月、金武町議会議員に初当選、以後5期にわたり議員を務め、総務財政委員長や産業建設委員長、教育民生委委員長を歴任、平成16年12月から平成20年12月まで議長を務めた。



松田義政氏



勲章を手にする長男健人さん(左)
妻美津江さん(中) 次女美紀さん(右)

総務財政委員会 所管事務調査

総務財政委員会ではデマンドバスの運営状況、防災の拠点となる施設を整備した複合庁舎に関して県外の先進地の事例を調査した。

調査事項：・デマンドバスの運営について
・白石区複合庁舎視察

場所：①令和5年6月27日（水）
・北海道今金町（いまかねちょう）
②令和5年6月28日（木）
・北海道由仁町（ゆにちょう）
・札幌市白石区（しらいしく）

調査結果

今金町では地域公共交通の役割を踏まえた将来像として、予約バスについて、よい利便性を高め、効率性にも配慮した見直しを行い、町内を運行するバスの路線について、利用実態に応じた見直し等を行う施策を展開し、町民をはじめ来訪者等も利用しやすい公共交通網の構築を目指している。

由仁町では平成29年10月に路線バスの早朝便が消滅したことで札幌圏内への通学の足が消え、中高生の進路選びにも支障をきたし、札幌圏への進学を機に家族とともに転出してしまうケースが出てきたことで通学に便利な北広島市駅と由仁町を直通で結ぶ通学に特化したデマンドバス（町公用車10人乗り）を令和4年10月から実証運行（バス停乗降り型）を開始した。

札幌市白石区複合庁舎では自然光が入りやすいガラス窓を設置する光の道、吹き抜け空間の上昇気流にのった暖気を排出した風の道、水害にもより強く洪水・浸水から守る庁舎として進めている。

本町でも近年、近隣の高校に通わず、遠方の高校に通う生徒が増えてきており、路線バスの廃止には生徒やその家族に多大な労力を要することが予想できるため、将来に向けてデマンドバスやコミュニティバスの導入は検討すべきである。複合庁舎に関してはひとつの場所でさまざまなサービスが受けられるワンストップサービスの取り組みや、災害時に必要なマンホールトイレや冷暖房を確保できる施設、太陽光の導入や雨水槽の設置等を設置する必要がある。



デマンドバスに関する聞き取り（今金町）



札幌市白石区複合庁舎の視察

岩美町議会が金武こども園を視察研修

金武町議会は10月2日(月)、鳥取県岩美町議会産業福祉常任委員会の子育て支援に関する研修を受け入れた。

保健福祉課から金武町における子育て支援関連施策の概要とこれまでの実績を説明し、金武こども園でこども支援課が施設の概要を説明した。



金武こども園の視察



子育て支援関連施設の説明

12月定例会のご案内

12月定例会の開会は12月12日(火)を予定しており、日程が決まり次第、戸別受信機やホームページでお知らせいたします。

金武町議会事務局

NTT：098-968-2292

QRコードを読み取ると議会中継サイトに繋がります。
金武町ホームページからもご覧になれます。



状況は町立図書館と各区事務所に配布している会議録をご覧になれます。
また、上記QRコードをスマートフォンで読み取ると映像が視聴できます。